

'90子ども太陽祭<第2回子どもアートフェスティバル>
巨大壁画の前で、立山町立釜ヶ淵保育所・大森保育所の子どもたち
(県民公園太閤山ランドにて)

富山県



TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報

とやま

1990
No.260

9

特集/国民健康保険を考える
トピックス/ジャパンエキスポ富山'92の概要



オレゴンへ友好の架け橋を

氷見高校英語教師 野上裕子さん

「知り合いが全くいない異国の地へ一人きりで行くのは、正直なところ大変不安です。でも、おもいっきり広いオレゴンの大自然の中で、アメリカ人の価値感や考え方を肌で感じることができればと期待しています。このほど、アメリカ・オレゴン州のザ・ダルス市へ日本語教師としての派遣が決まった、氷見高校英語教師の野上裕子さん。出発前の心境を語ってもらいました。

外国の日本人学校への県教員派遣はこれまでもありましたが、外国人のために派遣された例はなく、野上さんが今回初めてです。これは富山県が友好提携を進めているオレゴン州で、日本語学習に対する関心が高く、日本語教師の不足に悩んでいるのに対して県が応えたものです。

「中学時代は、英語は単に得意な科目という感じでしたが、高校に入って、英語は日本語と同じように、人と人とのコミュニケーションの重要な手段であるという基本的なことを先生方から教わり、何か目がさめたような気持ちでした。母親が高校の英語教師という家庭環境も影響して、大学は英文科に進み英語教師として教壇に立つことになりました。さわやかな笑顔と丁寧な教え方は、氷見高校の生徒の間でも、大変評判のことです。

「日本語を習う子供たちは、もともと日本が好きな子とか、日本に興味をもっている子が多いと思います。その子供たちがより日本に関心を持つようになってくればいいですね。また、日本よりはるかに進んでいる外国語教授法をみてきて、帰国してからの授業の中で、生かしたいと思います。オレゴンでの、そして帰国後の野上さんの活躍が楽しみです。オレゴンへの友好の架け橋が今かけられようとしています。」

車をおりて歩いてみようと、風景に近い、足元の小さな世界から、大空の広がりまで、みんな自分のもの、出来ただけゆっくり幼児のそれに学んで、あれ？と思っただけ立ちどまり、しゃがみこむ、まっ黒にえさに群がったアリ、えさはどうやら、バッタの糞だ、自分の身体の何倍もあるやつを引きつってゆく、一匹ではなく団体で、行動すしアリ、草むら、虫の声、草いきれ、しゃがみこんで、ふりあおぐ空の高さ、まっ白な、飛行機雲、立ち上り、遠く山の峰へ目をうつす、なにやら、ゆっくり舞っている、トンビだ、トンビになつて目と心が一つになった幸せな子供時代には、だれもが経験した世界、あれからどのくらいの時がすぎたことか……

車をおりて歩いてみようと、ゆっくりと遠くわすれ山並、鳥やトンボが通りすぎ、花があり、蜂がせっせと蜜をこぼす、蝶が舞う、風がそよぐ、身体全体で感ずる、自然人間はやっぱり、自然の中の生き物だ、急がずすぎた歲月、不自然のスピード人生、

なくさんのスケジニール、これを、こなすないと安心出来ない、団体旅行

徒歩の楽しき

利賀村そばの郷アドバイザー 金沢佑光
童画家



家族旅行 わずらわれた休日、ギリギリの日程、有名観光地をわけぬけ、ストレスがたまる、居酒屋、カラオケ、パチンコ、スポーツ、テレビ、ゴルフ等々、ねこし、しゃくし、ご同輩、スゴい社会、はこぼれていく人生、あー、なげくなわれ、本物の自分を取り戻すために、車を止めて、歩いてみようと、自然が、語りかけてくる、五感のはたらき、言葉が、解さ、しつと知らない、自然のことは、山を読むこと、鳥のことは、虫たちの色形行動、山川草木、雪月花、なんとなく、その中に身を置きやうだね、このゆつたりとした時間の豊かさを、幸せ定年にならないうちに、出来ただけ車をおりて歩いてみようと、より道がなくさんしながら、スケジニールがなおい、素の自分にとどめてゆつたり、歩こう、

鳥になつて大空を翔ぼう、幼児目になり、なくさんの、おどろきに、出会うため、今すぐ、車をおりて、歩いてみようと、出来ただけゆっくりと……

私にとつて、富山の自然は、こんな素敵さ、教えてくれた、わけがえのない、ふるさと



きれいなふるさとを守ろう

第7回県清掃美化大会

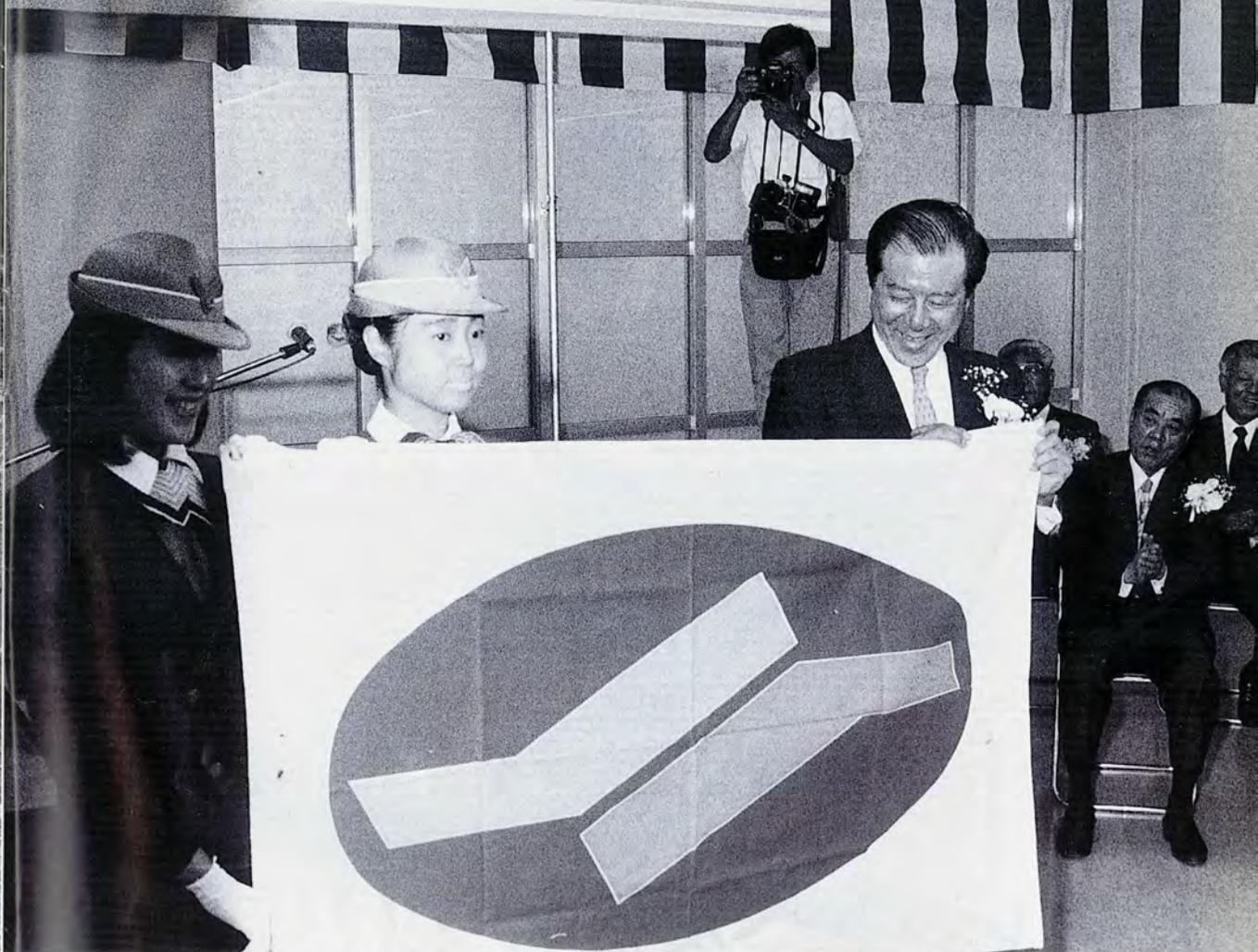


「日本一きれいな県土に」を合言葉に、第七回県清掃美化大会が七月二十二日、さわやかな青空の下、大沢野町立大沢野小学校のグラウンドで行われました。この大会には大沢野町の各町内会をはじめ、老人クラブ、婦人会、青年団、地元の小中高校生など約三千人が参加しました。

大会では内貴富山県理事、中斉大沢野町長らの激励に続いて、大沢野中学校三年生の矢野祥子さんが「県民総ぐるみの県土美化運動で、住みよいきれいなふるさとを守り育てることを誓います」との大会宣言を読み上げました。

大会式典後、参加者は大沢野小学校鼓笛隊を先頭に、町内をパレード。各地区に戻って、ほうきやゴミ袋を手に、道路や溝など町内を一斉に清掃、夏休みのスタートをさわやかな運動で飾りました。

ビル増築竣工 記念式典



装い一新、空の玄関

富山空港ターミナルビル増築工事竣工



▲記念式典



▲レーザーディスクの映像で紹介する県コーナー

昨年七月に着工した富山空港ターミナルビルの増築工事が終了し、七月二十日に竣工式典が行われました。

同ビルは昭和五十九年のジェット機就航を機に建設されましたが、富山―東京便の利用は順調で、年間の搭乗客数が七十万人を突破し、関連施設が手狭になったため増築工事が進められていたものです。

新たに増築されたのは、滑走路側（西側）に約七メートル、総合体育センター側（北側）に約十六メートルで、延べ面積は従来の四割増。一階にはコミュニティ航空専用カウンターが新設され、二階の搭乗待合室が約二倍の広さになるなど、全体的にゆとりとした間取りになりました。

出発ロビー周辺では、特産品コーナーや名水コーナーが新設されたほか、パソコンやレーザーディスクの映像で富山県を紹介する県コーナーもグレードアップ。

また、増築竣工記念として、七月二十日から二十九日までスカイドリームフェスタ'90が開催され、小学生対象の遊覧飛行や富山テレビ「クイズフォークサイン」の公開収録は、たくさん親子連れでにぎわいました。



ゆとりとやすらぎの園

流杉老人ホーム改築工事竣工式

昭和六十三年より全面改築を進めてきた県立流杉老人ホームが完成し、八月八日竣工式が行われました。テープカット、記念植樹に続いてあいさつに立った中沖知事は、「新しく完成したホームは、大部屋を解消し、明るく快適な住環境となっており、お年寄りの方々には、よりゆとりとやすらぎのある生活を送って頂きたい」と式辞を述べました。

同ホームは、現施設の老朽化、あるいは要介護老人の増加などに対応するため、総事業費約十九億二千万円をかけ、現施設の西隣りに新築されました。改築の特色としては、特別養護老人用の部屋を増設したほか、ヘルパー職員らの研修機能の充実を図るため、宿泊室や短期保護・体験入所者用の研修施設も設けられました。また、中央管理棟には合掌造りのデザインを取り入れたり、あるいは養護棟には散居村をイメージした部屋の配置を取り入れたりと、全体としてゆとりとしたスペースが確保されており、モダンな建物となっています。

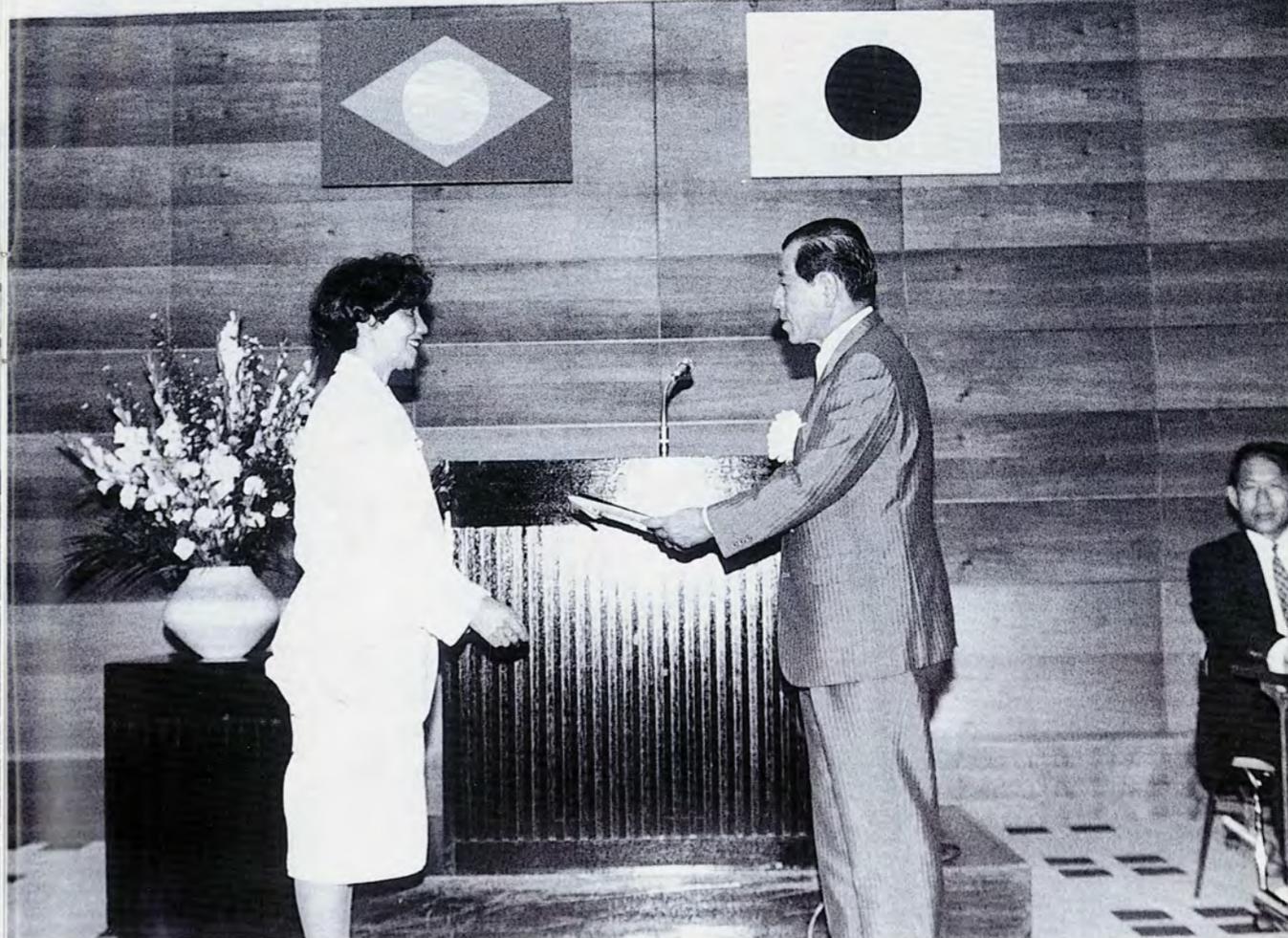
県では、この改築を機に、より県民に親しまれる施設となるよう、「ゆららの園」という愛称をつけました。



▲完成を祝ってテープカット



▲明るく快適な住環境に



交流、親善の流れをいつまでも

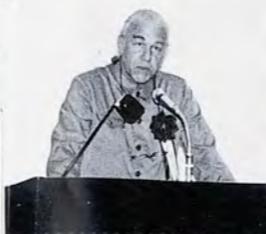
富山県・ブラジルサンパウロ州友好県州締結5周年記念事業開催

富山県とブラジル・サンパウロ州は、昭和六十年に友好県州を締結。経済、文化、スポーツなど幅広い分野で交流を進めてきました。今年には締結五周年に当たり、その記念式典が七月二十四日、富山県民会館国際会議場で、サンパウロ州知事補佐官ムッコ・キヨノ氏らを招いて行われました。

中沖知事が「両県州の交流が大河の流れのように広がり、世界平和と人類の幸福につながることを期待しています」とあいさつした後、キヨノ州知事補佐官が「富山との平和な交流が今後ますます発展することを祈っています」と述べました。

式典に続いて美術評論家のカルロス・ウォン・シュミット氏が「ブラジルの自然と四人の芸術家」と題して講演。出席者の関心を集めていました。また、県民会館一階ロビーでは、「ブラジル・富山県の児童、生徒作品展」が開催され、訪れる人の目を楽しませていました。

また、五周年記念事業の一つとして、七月二十六日から八月十二日までの間、岩瀬スポーツ公園等で連日の炎天下の中、ワールドカップにも出場したところのあるサッカーコーチ、ジョゼ・カルロス・パウエルさんが、県内の小中高生にサッカーの指導を行い、本場のすばらしい技術、組織プレー、トレーニング方法を披露してくれました。



▲カルロス・ヴォン・シュミット氏の講演



▲本場ブラジルのサッカーコーチによる指導も……

「人間—その内と外 富山から

世界へ・未来へ」

第1回ジャパンエキスポ

ポ富山'92の基本計画決まる

(キャッチフレーズ)「人って こんな にも おもしろい！」



JET '92

(シンボルマーク)

「人間—その内と外 富山から世界へ・未来へ」を基本テーマにしたジャパンエキスポ富山'92は、平成四年七月十日から九月二十七日までの八十日間、小杉町太閤山ランドで開かれます。従来の博覧会のスタイルにとられない富山らしいユニークな企画で、新しい時代の豊かなライフスタイルや地域のあり方に焦点をあて、生(Life)、愛(Love)、笑(Laugh)、光(Light)の四つの「L」の観点からテーマを追求します。県民総参加で個性あふれる楽しい博覧会を目指し、期間中百五十万人以上の入場者を見込んでいます。

会場

緑と水にあふれる自然豊かな太閤山ランド。二十四ヘクタールの広大な会場には、統一型の屋内展示館が配置され、会場入口から展示館までは、イベント、遊びなどを体験して進む、いくつもの道(ルート)が設けられています。まず、メインゲートをくぐると目前に三百メートルの水上橋が出現します。池ではボートなどの水遊びができるほか、岸辺や水上での展示、イベントが楽しめます。また、水上レストランでの食事は一興です。入場券は橋を渡った後の広場で受け

渡するため、会場の導入部となる池周辺は自由に入ることができます。広場から巨大な屋内展示館(ジャパンエキスポ館)へ向かうには、決断の道や回想の道など、いろいろな人生の道が広がっています。道に沿って、世界各国の優れた遊具ベンチ、トイレなどの快適な環具が展示され、多彩なイベントが繰り広げられます。

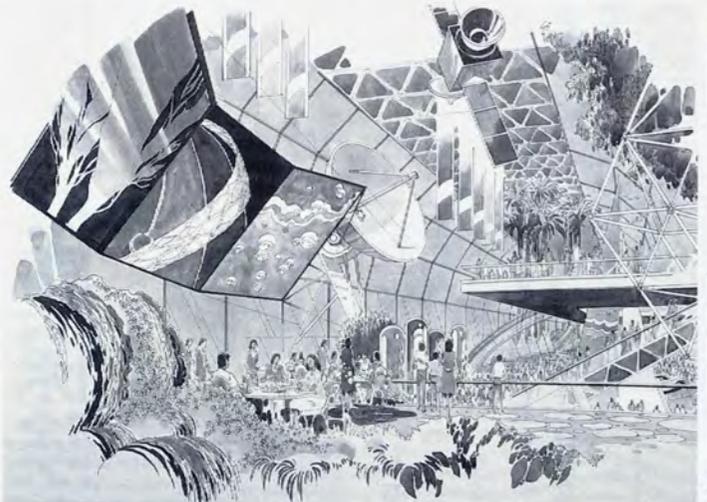
パビリオンは単一館方式

ジャパンエキスポ館(再会の館)は当博覧会のエッセンスが一堂に集う、約一万五千から二万平方メートルの集約型パビリオンです。

この中心部の約五千平方メートルが恒久的に多目的活用ができるテーマ展示館で、これに他の展示館が連結する格好で、長方形に近い巨大な屋内施設を構成します。このようにジャパンエキスポ館は、博覧会の原点(一八五一年ロンドン博)に戻って、従来のパビリオン分散型ではなく、地方博としては初めてのユニークな単一館方式を採用。

キャッチフレーズ

「人って こんなに おもしろい！」このキャッチフレーズは、大沢野町の学生奥村清美さんの作品です。



普通入場券料金表

区分	前	売券		当日券
		第1期 (平成3年4月~)	第2期 (平成4年1月~)	
大人	18才以上	2,000円	2,250円	2,500円
生徒	高校生・中学生、 12才以上18才未満	800円	900円	1,000円
子供	3才以上の幼児 小学生	400円	450円	500円

入場料

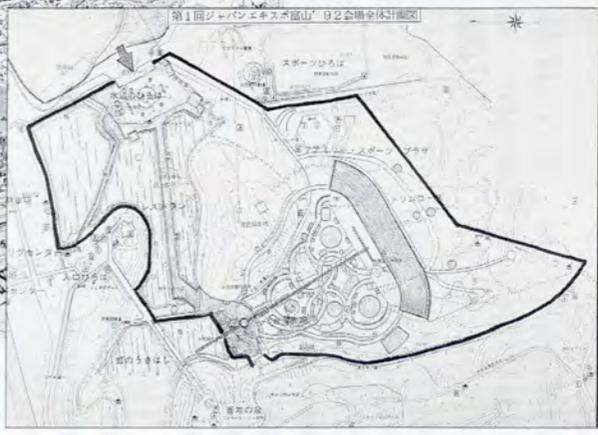
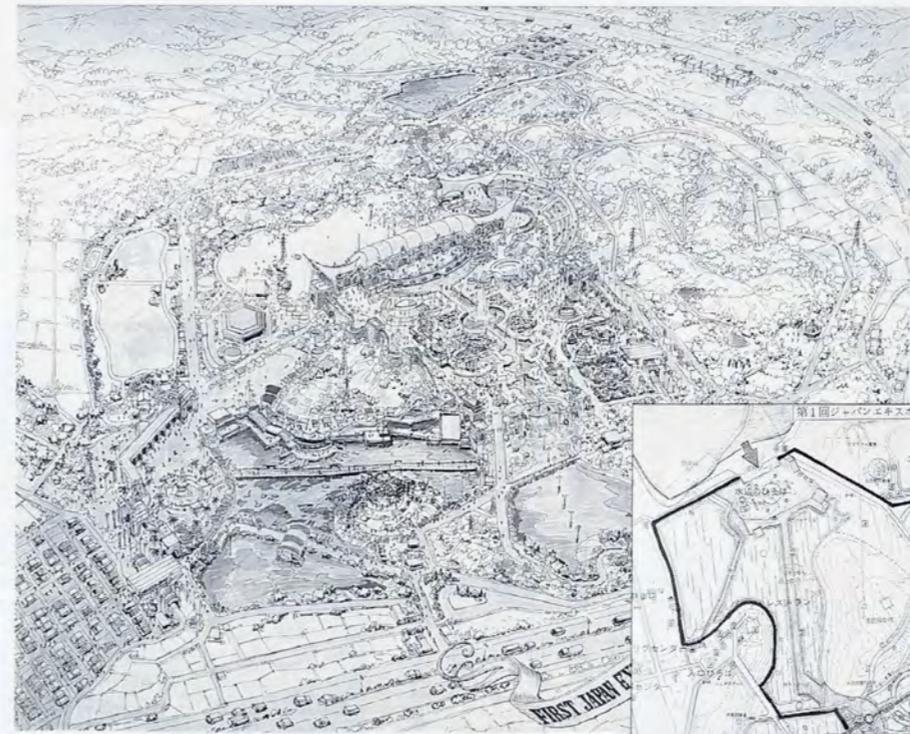
シンボルマークは、東京在住のグラフィックデザイナーで、富山県に深い「永井一正」氏に依頼し、制作したものです。

シンボルマーク

マークは、富山県の頭文字「T」を形取って、人間をイメージし、博覧会の基本テーマ「人間—その内と外 富山から世界へ・未来へ」を展開したものと なっています。

より多くの方に 参加していただくために

博覧会は単に観客動員数やパビリオンの数を誇るのではなく、多くの個人、団体、企業等が、いろいろな形で参加し、それを意義深い経験とするよう進めていくことが大切です。基本計画では、県民総参加で魅力あふれる博覧会を目指しています。



国保は高い？



国民健康保険を考える

わたしたちは、いつも健康でしあわせな生活が送れるように願っています。しかし、病気やけがはいつやってくるかわかりません。国民健康保険（以下「国保」といいます。）は、そんな突然の病気やけがをしたときの医療費の負担を軽く、いつでも、どこでも医療を安心して受けられるように、日ごろ健康なときから国保税を出し合つて医療費にあてる相互扶助制度です。

国保の加入者

日本の医療保険制度では、国民皆保健といつて、いずれかの保険に加入することになっています。

国民健康保険法では、他の医療保険に加入している人や生活保護を受けている人などを除いた全ての人を国保の被保険者（加入者）と規定しており、赤ん坊からお年寄りまでの被保険者は、その住んでいる市町村の保険に加入することになっています。

富山県の国保の被保険者は、平成二年三月末現在で、三一七、七〇〇人となつており、県民の二八・四％の人が

国保に加入していることになりました。

国保の被保険者は、毎年少しずつ減少していますが、これは、政府管掌保険が小規模な事業所でも加入できるようになったことなどが影響しているものと思われまふ。



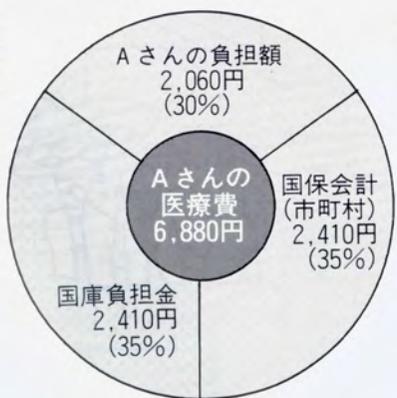
富山県民の28%が国保に加入

国保医療のしくみ

〈事例1〉

富山市に住むAさんは、本年五月、風邪で二日間医者にかかりました。このときの費用は、六、八八〇円でした。Aさんは、その三割の二、〇六〇円を窓口で支払いました。

残りの七割は、国の補助金と国保被保険者の皆さんが出し合う国保税でおむね二分の一ずつ賄います。

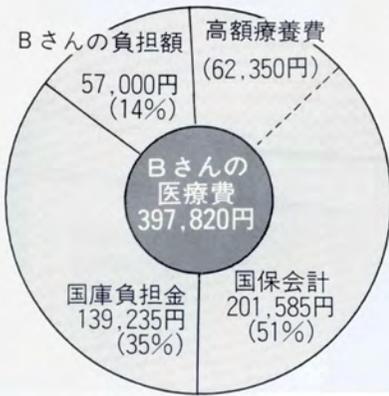


〈事例2〉

高岡市に住むBさんは、本年六月、盲腸炎（急性虫垂炎で腹膜炎併発）で手術を受け、十一日間入院しました。

このときの費用は、三九七、八二〇円でしたので、Bさんは窓口で一一九、三五〇円を支払いました。でも、一ヵ月の間に同じ病気のため、同じ病院に支払った額のうち五七、〇〇〇円を超える金額は、高額療養費として国保か

ら払い戻される制度になっています。つまり、Bさんは、後日、市に請求して六二、三五〇円を受け取ることができるのです。



国保では、医療費のほか、助産費や葬祭費などの給付も行っています。

このような財源は、皆さんの納めている国保税と国などの助成によって賄われており、医療費が増えれば当然のことながら国保税も高くなります。



増え続ける医療費と 全国一高い国保税

高齢化や成人病の増加など、さまざまな要因から医療費は毎年増え続けています。

表1は、被保険者一人当たりの医療費と被保険者一人当たりの国保税の推移を表したものです。昭和五十八年度から六十三年度までの一人当たりの医療費の年平均伸び率は、全国で八・〇%、富山県で八・四%となり、また、昭和六十三年における富山県の一人当たりの医療費は、全国平均の一・三倍となっています。

このため、昭和六十三年における富山県の一人当たりの国保税は、全国平均の一・三倍となり、全国で第一位という状況です。

医療費が高い いろいろな要因

富山県において、医療費が高いのは、いろいろな要因が考えられます。まず、①医療費全体に占める入院医療費の割合が高いこと。②国保加入者の高齢化が全国平均よりも、相当進んでいること。③医療施設の設備が良く高度な治療が受けられる反面、高額な医

療費が必要なこと。このほかに、④医療施設が多く利便がよいので、受診機会が多くなること。⑤医療費の高い循環器系や筋骨格系疾患が多いこと。などがあげられます。

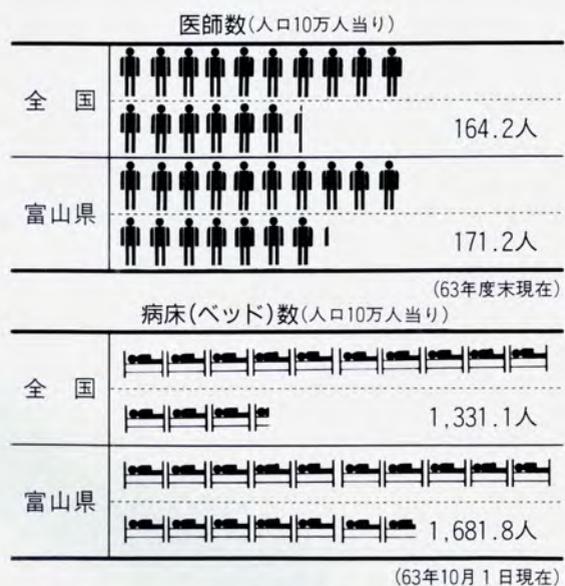
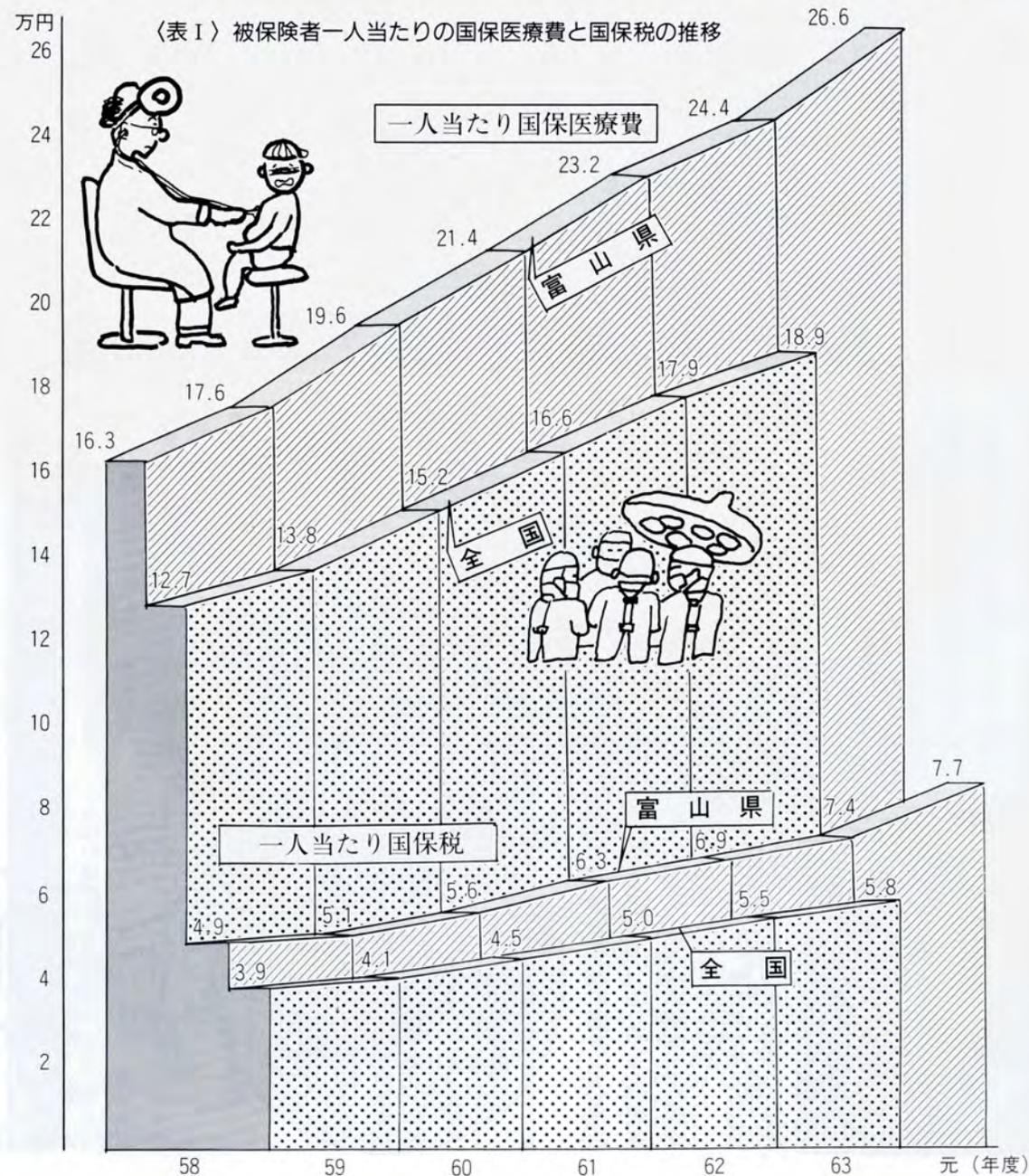
いずれにしても、富山県では高い医療費が高い国保税の要因となっていますが、これは一面では、富山県の被保険者が、全国に比べて高度で密度の高い医療を受けていることにもなるでしょう。

医療費の節約が 国保税の軽負担に

わたしたちが日常生活を送っていくうえで、非常に大切なものの一つに、健康があります。国保があるから安心と、不摂生な生活をしていては、結局病気で苦しみ、豊かな老後も迎えられません。

国保では、保険施設事業といって、国保直営の病院や診療所の設置、健康教室の開催、乳幼児や成人、老人などの各種検診、栄養指導など医療や健康に関する事業を、国保の被保険者である住民を対象として積極的に進めています。

健康はかけがえない財産です。明るい家庭を築き、豊かな老後を送るためには、まず健康でいなければなりません。



	全国	富山県
全体	189,496円	244,358円
老人	564,455円	621,126円
若人	116,046円	140,605円
退職者	256,281円	264,886円

老人……70才以上の方および65才以上のねたきりの方
退職者……被用者年金の老令年金受給者
若人……老人・退職者以外の方
(63年度)

	全体	国保
全国	11.2人	13.9人
富山県	14.0人	18.3人

(全体は63年10月1日現在、国保は63年度平均)

県や市町村では、県民の皆さんにこのような健康教室への参加や、各種検診への受診を呼びかけたり、スポーツに親しんでもらうために、生涯スポーツプランなどのいろいろな施策を実施しています。しかし、何よりも大切なのは「自分の健康は自分で守る」という自覚です。わたしたちは、この自覚を強く持って健康維持に努めていかなければなりません。

①位	循環系疾患(高血圧、脳梗塞など)
②位	消化系疾患(胃潰瘍、虫垂炎、肝硬変など)
③位	新生物(ガン、白血病など)
④位	筋骨格系及び結合組織疾患(リウマチ、腰痛など)
⑤位	精神障害(精神分裂症、そううつ病など)





PIN-UP TOYAMA

雲上の劔岳

撮影／松浦義一

えもいわれぬ雲の海

そおっとそっと

歩いてみたい別天地



「三百年、富山」

レポーター：中村恭子(ミスりんどうクイーン)

富山といえば、まっさきに思い浮かぶのが「くすり」。その昔、富山の売薬さんは、「先用後利」という独特のシステムで配置薬を販売し、「くすりなら富山」というイメージをつくりあげました。それから三〇〇年。現在では、病気の治療や予防また健康づくりにと、「富山のくすり」は各方面で役立っています。

薬業振興課では、伝統ある富山のくすりを保護しながら、より高度化する薬業・医療技術の研究・開発を支援しています。

県外の方に「富山」と聞いて何を連想されますか？と質問をしたところ、一番多かった解答は、「くすり」だったそうです。

何故、これほどまで、「富山＝くすり」のイメージが強いのでしょうか。皆さんも疑問に感じた事が一度はあるはずです。

私は今回、その疑問を解き明かそうと、県庁一階にある「薬業振興課」を訪れました。私はここで非常に興味深い話を聞くことができました。

全国各地で『富山のくすり300年展』

今をさかのぼること三百年前。富山藩主前田正甫公が、参勤交代で江戸城に登城した折、三春(みはる・現在の福島県)

「くすりの伝統



「売薬さん」たちってどうして勉強してらっしゃるんですか

次に訪れた「富山県立薬業研修センター」は、医薬品配置販売に従事しようとする人を対象に必要な知識と技能を講習し、薬業振興の為の人材を育成しようとする所です。いわゆる一般に「売薬さん」と呼ばれる方々がここを卒業されているわけです。教科課程としては、普通課程と高等課程があり、普通課程は、医薬品配置販売に従事しようとする人は誰でも

の藩主、秋田河内守という人が、突然腹痛をおこしました。ちょうどその場に居合わせた正甫公が、ふとところに持っているくすりを飲ませたところ、たちまち腹痛が治ったそうです。それから富山のくすりは、よく利くと評判になり、全国に広まったということです。

出合いが効く、富山のくすり



▲「富山のくすり300年展」のイメージポスター

今年には薬業振興課を中心に富山のくすの出合いが効く、富山のくすりをより強いものにしていくと、薬業振興課の方々ははじめ富山県内のたくさんの方々が毎日忙しく活動されているとのことです。



り三百年記念事業が行われています。

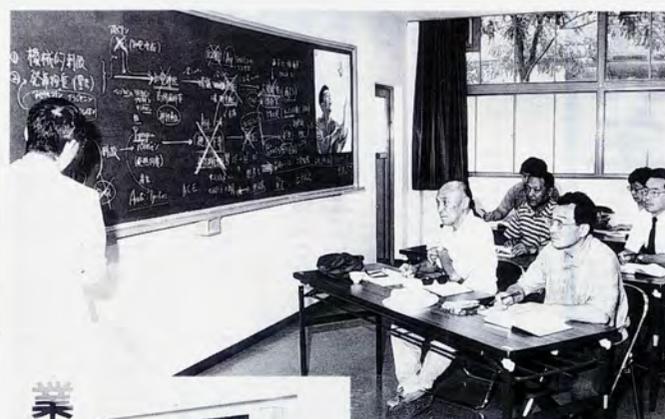
八月十七日の記念式典を皮切りに、福岡、仙台、名古屋、札幌、東京、広島の各地で、「富山のくすり300年展」が開催され、そのイメージポスターのモデルとして、落語家の立川志の輔さんが起用されました。また、紙風船をモチーフにしたシンボルマークのバッチやシールなどを配布し、全国的に「富山のくすり」というイメージ

受講することが出来ます。毎月、十五日間の講習が行われ、配置販売に必要な法規、薬理、生理衛生、医薬品に関する知識、公衆衛生、商業簿記、薬業経営の知識等を学びます。一方、高等課程は、夏期、冬期の年に二回開かれ、現在すでに医薬品配置販売に従事している人を対象に、講習が行われます。薬品学七講座、製剤学、生理解剖学、薬理学、薬事法規などが出来ます。受講年齢も、十九才から六十才以上と幅広く、年間、百名前後の方々が、ここを卒業していきます。この

日も夏期講座の授業があり、見学させていただきました。どの方も、一言一句、聞きのがさないようにと真剣にとり組んでいる姿が印象に残りました。

このように、「富山＝くすり」というイメージがどうして強いのか、その理由がおわかりになったかと思えます。まさにこのような方々の努力によって作り上げられたと言っても過言ではありません。私たちは、「くすり」について知っているようで実はあまり良く知らないのです。薬種商家であった金岡邸をはじめ、県内には「くすり」について勉強できる施設があるのですから、もっと皆さん利用して、「富山のくすり」を、自分の知識の一部にしていきましょう。

最後に、私のミスの名「りんどう」の根も立派な薬になるそうです。私も、もっというんな知識を吸収して、富山を全国にアピールして行きたいと思っています。



▲県薬業研修センターで講習を受ける「売薬さん」たち。



業研修センター

▼おわびと訂正 先月号の県庁探訪水産漁業課は誤りでした。おわびして訂正します。正しい課名は水産漁港課です。

ふるさと
みてある記

入善町

刈り入れを待つばかりに実った稲穂が、見渡す限り一面に広がっていて、その向こうには雄大な立山連峰、ふり返れば広大な海。こんな絶景の一角に国指定史跡、じょうべのま遺跡がある。

鍋釜みたいなもの……とわかりやすく説明してくださったのは、じょうべのま遺跡監理員の田中久栄さん（82才）。田中さんとこの遺跡とのかかわりは古く、昭和十六年、入善町青年団で郷土史編さんが企画された時からである。

外人客でも身振り手ぶり何なく案内して、「真心がこもってれば、ちゃんとお通じますよ。」と笑う。観光客や歴史家相手の案内の他、遺跡の手入れや清掃、また婦人会、全国考古学シンポジウムからの講演依頼があつて忙しい毎日である。

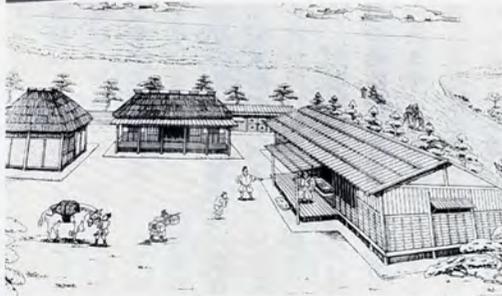
“土器の匂い”に惹かれて50年



▲じょうべのま遺跡監理員の田中久栄さん



▲県下で最初に出土した風字硯(すずり)



▲じょうべのま遺跡復元図



▲愛鳥園の田中久義さん

大きくゆったりとした鳥舎の中に入っていくと、木が生い茂り、池では鴨の親子が泳ぎ、真ん中の島では母鳥が卵を温めている。「小さなかごに閉じ込めんと、自然に近い環境やと鳥ものんびりしとつちや」と、庭を自由にかけ回るくじやくに、えさをやりながら中田久義さんが笑いかけてきた。

中田さんは今、高さ十メートルの大観音像を造ろうとしている。鳥等の飼養のためである。生きものを飼っている人みんなが供養でき、訪れた人が手を合わせて拝めるようなものにしたと、自分でノミをふるう。

「人にまねのできんことせんと意味ないちや。今まで「やる」と公言したことは全部実現させとるからねえ。」と自信満々。次に訪れる時には、中田さんに似た優しい観音様が拝めるかもしれない。

素敵なムードのコーヒータイム

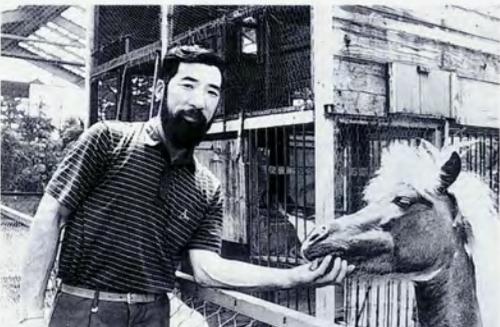
も多く、シンガポールの野鳥園に譲ったこともあるという。あくまで中田さんの趣味であるから家族の手は借りずに、毎日朝晩一人で餌をやる。鳥が根っこをほじくったり、枝を折ったりして、緑を維持するのも大変な仕事である。でも、「こんなこと苦勞やと思わね。会社での疲れがふつとぶね。」

美しい田園風景をバックに、おいしいコーヒーを飲みながら、東京フィルハーモニー交響楽団のトップメンバーを招いて「クラシック・コンサート」……。なんと贅沢な！一度味わってみたいと思いませんか。こんな催しを企画したのは、喫茶店「ダックスファーム」の経営者、木本昇さん。今年、六月十五日の夜に開催され、約九〇人のクラシック・ファンが詰めかけた。

「今年もやらないか。」と言われた時、費用がかかりすぎるので迷ったが、赤字覚悟で家族旅行する代りに、一流演奏家の生の演奏を聴こうと発想を転換して決断したという。

入善町
人口 29,642人(7月1日現在)
面積 71.58km²

黒部川扇状地の6割を占める広い平野に恵まれ、コシヒカリなどの良質米産地として知られる。チューリップや藤原イチゴの栽培も盛んで、富山ジャンボスイカは夏の味覚の王様。吉原沖の海底には約1万年前と推定される世界一古い海底林がある。

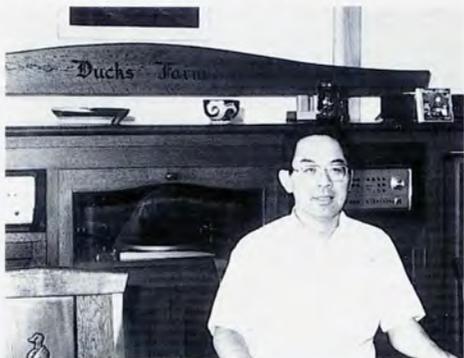


「WALK IN AVIARY」という名のこの鳥舎の中へは一般の人も入って鳥と触れ合うことができるのが魅力である。鳥の他にもポニー、やぎ、うさぎ等もいて子供達の人気者になっている。「ここを訪れた子供達からの作文や絵は大切に」とってあります大人のお世辞よりずっと嬉しいもんですちや。」



▲クラシックコンサートのリハーサル風景

「フルートやチェンバロの透んだ音が、耳元で聴こえて。生の音ってこんなにいいものか」と。もう病みつきになりますね。」と今だ感動さめやらの様子である。この店には「ダックス」という看板どおり、前の池



▲ダックスファームの木本昇さん

ドバイスを受けていた。それを見た時は、やっぱりよかったとしみじみ思ったそうである。また、コンサートの他にも、東京から講師を招いておいしいコーヒーの実習会もしている。「今度は、地元の人達によるコンサートや映画鑑賞会も開いて」と張り切っている木本さん。これからも話題を呼びそうです。

9月10日は、全国下水道デー

すてきだねきれいな川と下水道



9月10日は全国下水道促進デーです。その普及率が文化のパロメーターといわれる下水道は、健康で文化的な生活を営み、川や海等の公共用水域を守るためには不可欠の基幹的施設です。

しかしながら、平成元年度末における本県の普及率は26%で全国中位。まだまだこれから推進を図る必要のある事業です。今後とも県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

第29回全国下水道促進デー●作文コンクール入選作品

「下水道の必要性」

富山市立大泉中学校 二年

酒井理津子



「下水道」という言葉は、日常生活の中でよく使われている言葉でありながら、

「では、何のためにあるのか。」

と聞かれると、私は、その必要性について、答えることができませんでした。私は、この作文を書くにあたって、資料を調べた結果、大切な事を学んだような気がしました。

かつて、私の祖母達の時代には、まだ下水道が通っておらず、家庭から出たゴミや汚水は、全て近くの川へ流していたそうです。私の家では、いたち川へ流していました。そして、いたち川へと通じている細い川で洗たくまでしていたそうです。

しかし、いたち川は、汚れることもなく、いつも美しいままでした。特に、夏には蛍がたくさん舞いとぶので、人々に「蛍川」と親しまれていたそうです。今では、その「蛍川」の面影も消え、ただの「どぶ川」に変身してしまったような気がします。蛍の姿は、見られなくなり、川の魚も減っていることでしょう。どうして、いたち川は、こんな姿になったのでしょうか。

その原因は、家庭から出たゴミや排水を、そのまま川に流したことにあります。



川には、本来、浄化能力があり、水中の微生物が汚水の成分を分解して、元の水に戻しています。しかし、この能力にも限界があります。科学技術の進歩につれ、洗剤には、自然の力では分解不可能な成分が含ま

れるようになりました。また、人口の増加につれて急速に増えた家庭排水は、川の浄化能力を越える量でした。川をいたわらず、昔のままに汚水を流した結果、いたち川は、今の姿となったのです。このような例は、いたち川だけではありません。

滋賀県の琵琶湖は、国内最大の湖で、名所としてとても有名です。また、周囲に住む人々に、飲み水、新鮮な魚を供給して、日常生活にも深く関わっていました。

しかし、ある日突然、琵琶湖の湖面が帯状の茶かっ色になったそうです。そしていやなにおいをさせて、人々を驚かせました。赤潮が発生したのです。滋賀県では、下水道の整備が遅れていたため、家庭や工場の排水をそのまま琵琶湖へ流し込んでいました。その排水には、窒素やリンを含んだ合成洗剤が流されていて、それが原因で赤潮が発生したのです。

滋賀県の人達は、自分達の琵琶湖を守ろうと、合成洗剤の使用をやめ、粉せっけんを使うという運動を起しました。

琵琶湖を守るのは、子孫に対する自分達の責任である。という運動は、県を動かし、そして国を動かし琵琶湖を守ったのです。

このように、各家庭が水の汚染を防ぐために努力を積み重ねるのは、とても大切なことです。しかし、工業化が進み、都市の人口が増え続ける現代、水の需要は高まるばかりです。それだけでは、もはや川を汚染から守って

くことはできません。ただ捨てていい時代は、過ぎたのです。やはり、大量の汚水を丁寧に処理し、再利用を可能にできる下水道が絶対に必要だと思います。

人間が破壊した自然を人間が回復させることは、当然の義務です。しかし、裏返せばそのことが、自分達の生活を守ることにはかならないということも、私は、知りました。

祖母は、時々、自慢気にこういいます。「いたち川は、『蛍川』という映画にま

なりましたよ。祖母にとっては、長い間生活に利用してきた愛着のある川ですし、母達は、このいたち川で蛍をつかまえたりして遊んできたことでしょう。昔の話を聞いてみると『蛍川』という映画が見てみたくありません。

いたち川は、確かに汚れていますが、祖母の話によると、まだきれいな方なのだそうです。魚も少しは捕れるし、時々かもも来るからです。川は、まだ死んでいないのですから、これからの努力しだいで、また昔の姿を取り戻せるかもしれません。下水道の完成によって、いたち川に再び蛍が飛ぶ日が、早く来ればいいと思います。

みなさんのご理解とご協力をお願いします

秋の農作業安全運動

さわやか笑顔 みゆりを色どる秋 農作業は安全にね



県では、「さわやか笑顔 みゆりを色どる秋 農作業は安全にね」をスローガンに、秋の農作業安全運動を展開中です。秋の農作業では、特にコンバインによる稲刈り作業中に事故が発生しやすくなります。農機具は使用前に必ず点検し、ゆとりのある計画で慎重に作業を進めるよう心がけて下さい。

9月9日は「救(0)急(0)SOS」



あなたの身近で、救急医療に頼らなければならない事態が、いつおきるかもしれません。救急医療を正しく理解し、効果的に利用していただくため、次のことにご協力ください。

9月9日～15日は「救急医療週間」

- 何でも相談できるかかりつけの医師を持ち、急病の際は、まずかかりつけの医師に相談しましょう。
- いざというときのために、応急処置の知識や技術を身につけておきましょう。
- 救急車が必要と判断したら、あわてず落ちついて一九番にダイヤルしましょう。
- 住所や場所、近くの目標物まで、くわしくはっきりと知らせましょう。
- 病人、ケガ人の状態を的確に説明し、消防署員の指示に従いましょう。
- より重症な救急患者が直ちに利用できるよう救急車の安易な利用は避けましょう。



くらしと健康展



薬についての正しい知識や取り扱い方を広く県民の皆様にご提供いただくため、「くらしと健康展」を開催します。また、富山県薬剤師会の創立百年を記念して、百年の歩みや薬剤師の役割、医薬分業制度等を併せて紹介します。みなさんのご来場をお待ちしています。

- 日時 九月六日(木)～十日(月)
- 場所 大和富山店八階大ホール
- 展示内容 薬用植物展示・くすりの相談コーナー
薬用酒の作り方と試飲会
丸薬の製造実演等

※入場無料



県政の動き

平成2年7月11日～8月10日

- 7月11日 知事のまちなまり(滑川市)
- 7月12日 富山ジャパンエキスポ協会理事会・幹事会
- 7月13日 産学官交流 TOYAMA テクノフォーラム'90



- 7月16日 緑化推進県民会議
- 7月17日 富山県総合開発審議会
- 7月20日 とやま名誉大使称号授与式
富山空港ターミナルビル第II期増改築工事竣工式

- 7月21日 働く婦人のつどい
- 7月22日 第7回富山県清掃美化大会
- 7月23日 カリフォルニア大学サンディエゴ校サマースクール



- 7月24日 富山県・サンパウロ州友好県州締結5周年記念式典
- 7月25日 知事のまちなまり(立山町)
- 7月28日 国際和漢診療学フォーラム富山開会式
- 7月30日 平成2年度献血運動推進富山県大会



- 8月2日 子供のためのネットワークーズ会議
- 8月3日 「国際青年の村」外国青年表敬
- 8月4日 ターミナルケア・フォーラム in TOYAMA



- 有峰フェスティバル(～5日)
- 8月8日 県立流杉老人ホーム改築工事竣工式
- 8月10日 '90子ども太陽祭オープニング(～12日)
道の日街頭啓発

公立学校臨時講師募集

県内の小・中学校、県立学校で、教壇に立って授業を受けもつ、臨時講師を募集します。

内容 小・中学校及び県立学校で一定期間講師として勤務する。

募集 常時

資格 教諭、又は、養護教諭の免許状をもっている人。年齢は問わない。

問合せ・申込み
県教育委員会教職員課
0764・31・4111
又は、269
内線268



平成2年10月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
1	月	八尾町役場前	9:30～12:00
		八尾町商工会前	13:00～15:30
6	土	高岡駅前	10:00～15:30
7	日	氷見市ハッピータウン前	10:00～15:30
		井波町商工会前	10:00～15:30
8	月	城端町役場前	10:00～15:30
9	火	庄川町役場前	10:00～15:30
13	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
14	日	富山市中央通り	12:30～16:00
15	月	宇奈月町商工会前	10:00～15:30
18	木	氷見市役所前	10:00～15:30
20	土	富山西武前	10:00～16:00
21	日	富山西武前	10:00～16:00
22	月	大沢野町役場前	10:00～15:30
27	土	高岡駅前	10:00～15:30
28	日	福光駅前	10:00～15:30

「永井一正展」

県立近代美術館企画展

グラフィックデザイナー・永井一正氏の、ポスター、シンボルマーク、版画作品を一堂に展示します。永井氏のデザインは、世界的なグラフィックデザイン展での多数の受賞歴からも明らかのように、世界のトップレベルのデザインとして高い評価を受け、一九八八年には、その業績に対し芸術選奨文部大臣賞が贈られました。富山県立近代美術館では、ポスターとカタログ表紙のデザインを、開館以来一貫して制作依頼してきましたが、開館10年記念

シリーズ展のひとつとして、それらの作品を含む過去30余年に及ぶ変遷をたどりま。

会 期 9月1日(土)～10月7日(日)

観覧料 一般770(610)円 高大生560(380)円
小中生330(220)円 ※()内は20人以上団体

講演会 永井一正氏 9月15日(土)午後2時

講演会会場 近代美術館一階ホール
入場無料

問合せ 0764・21・7111



富山県民謡民舞大会

県内各地で古くから受け継がれている民謡民舞を一堂に集め披露します。二十団体が出演の予定。

日時 九月二十三日(日)十三時～十七時

場所 井波町総合文化センター

入場無料

※詳しくは富山県教育委員会文化課へ
TEL0764・31・4111 内線288



理容師試験・美容師試験の民間委任について

これまで県が実施してきた理容師試験、美容師試験を、平成二年度秋期試験から次のとおり民間の指定試験機関(＝厚生大臣が指定する試験機関)に委任することになりました。

指定試験機関
財団法人 理容師、美容師試験センター

富山県支部事務所の所在地
富山市総曲輪一丁目七番一号
電話0764・33・9046

また、試験事務の委任に伴い、次のことが変わりますので、理容師試験、美容師試験を受験される方は注意してください。

受験願書の提出先
理容師、美容師試験センター富山県支部

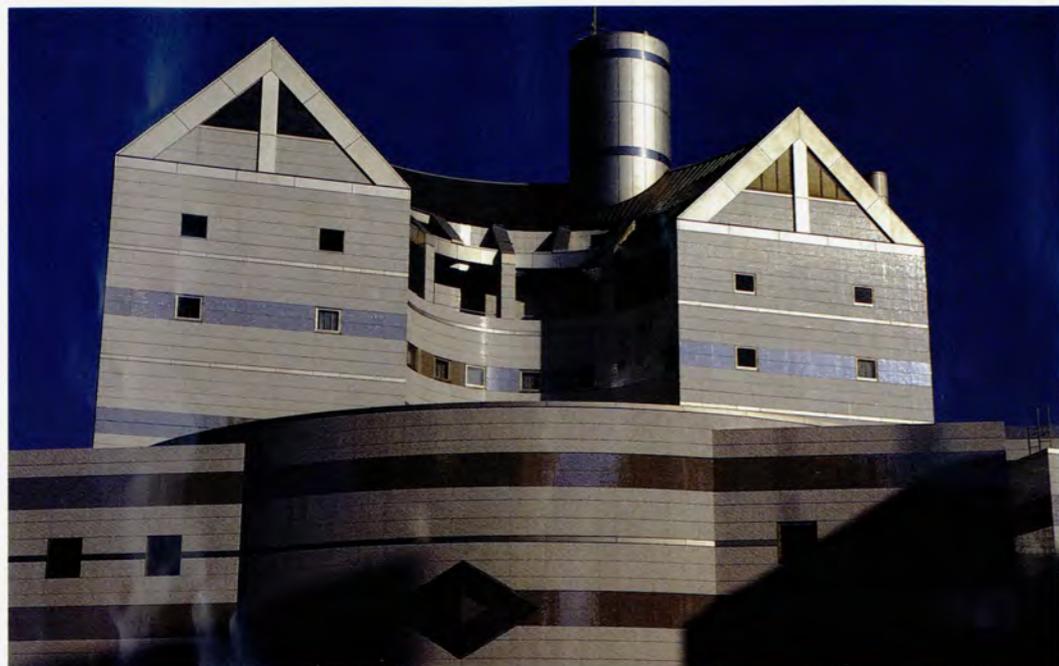
受験料
理容師試験、美容師試験ともに、学科、実地それぞれ九千円。

合格証明書の発行
平成二年度秋期試験以降の試験の合格証明申請は、理容師、美容師試験センターに提出してください。

問合せ 県厚生部環境衛生課
0764・31・4111 内線452

共生の図像学から生かしたポストモダン建築

「高志会館」 黒川紀章設計(昭和60年富山市千歳町)



現在最も新しい建築デザインはポスト・モダンイズムと呼ばれている。ポストは「の」の後」と言う意味でモダンイズムは「近・現代主義」と言う意味だから、ポスト・モダンイズム建築とは「近代・現代建築以後の建築」ということになる。実は、我々が普通に目にしてる近・現代建築、すなわちモダンイズム建築は、一九二〇―三〇年代のヨーロッパに成立したもので、そのデザイン原理は機能的合理主義であった。つまり建築はその用途を完全に満たす様にデザインされれば良く、それに徹底すればその意匠は必ず美しくなると言う。従って用途、機能を果たすに不都合のない装飾や形のみにこだわるデザインは不合理であり、悪しきものであるとして斥けられた。このモダンイズムの限界が見えて来たのは一九六〇―七〇年代である。つまり、この機能的合理主義に経済効率至上主義が結び付いた時、それが大量に生み出したものは、鉄とガラスとコンクリートの単なる箱に過ぎない建築の群で、それが都市を覆い尽くし、無機的な都市砂漠を作り出してしまったのである。

これに対し「ノ」と言ったのがポスト・モダンイズム建築である。つまり、機能を果たすことは建築の必要条件ではあるが充分条件ではない。充分条件は機能を超えた「何か」である。ところが、価値の多様化した現代を反映して、この「何か」が何であるかについて

のコンセンサスが得られていないのが「ポスト・モダンイズム建築」近・現代建築以後の建築」の特徴なのである。

この高志会館は黒川紀章のポスト・モダンイズムの作品であるが、ホール、会議室、ギャラリー等の会館機能を三階までの正方形平面の主棟と、斜めに交差する付属棟に入れ、宿泊室、レストラン等のホテル機能を、一部を切断した円形平面の棟に入れて、それを正方形平面主棟の上に置くという構成をもつ。つまり、建物に要求された機能を機能的に仕分け、建築空間として分化させる機能的合理主義の要を押さながら、正方形と円形という相互に異質の形態をそれぞれに与えて結合するというミス・マッチによって生じる形態の非合理的効果を狙って成功している。見る方向によって方形が強調されたり、円形が意識されたり、円形が切断された部分に付ける切妻が予期せぬ格好で見えたりして、意外性を持つデザインを創造している。

この様に、モダンイズムの合理主義一辺倒の思考に対し、非合理性で揺さぶりをかけ、合理主義によって捨てられて来た「形態の豊かさ」の後権を自論むのも、「ポスト・モダンイズム」のひとつの方向である。また、この作品のインテリアには一九二〇年―三〇年代アメリカで流行したオール・デコ・スタイルの意匠をアレンジした装飾も見られるが、これもポスト・モダンイズムの一つの手法である「過去の建築様式の引用」である。

ポスト・モダンイズムはモダンイズム批判である訳だが、この作品と周囲にある「箱」の建築と較べて、読者はどの様な感じを持たれるであろうか。

解説／竺 覚暁 工学博士 富山大学工学部教授
写真／風間耕司 日本写真家協会会員



●表紙撮影／滝川邦彦(日本写真家協会会員)
「巨大壁画の前で記念撮影。暑い中、遊び疲れた子供たちは、かなりバテ気味。それでも、ヤケくそでオーッ! 来年はもつと涼しい森の中でするといいのに、なんてつい思ってしまったのです。」

P 2	表2	エッセイ／金沢佑光
P 1	P 1	ひと／野上裕子さん
P 2	P 2	クロージング
		①富山空港ターミナルビル増築工事竣工
		②富山県清掃美化大会
		③サンパウロ州友好締結5周年記念事業
		④流杉老人ホーム改築工事竣工
P 6	P 6	トビックス／ジャパンエキスポ'92の概要
P 8	P 8	特集／国民健康保険
P 12	P 12	PIN UP TOYAMA
P 14	P 14	撮影／松浦義一
P 16	P 16	県庁探訪／薬業振興課
P 18	P 18	ふるさとみてある記／入善町 県からのおしらせ

みなさんの相談窓口

県政については		消費生活については		交通事故については	
県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111代 31-3131(県民電話)	消費生活センター	富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 (一般相談は) ☎(0764)32-9233 (金融相談は) ☎(0764)33-3252	富山県交通事故相談所東別館1階	☎(0764) 31-4111内759
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411代	消費生活センター-高岡支所	高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777	相談110番	家庭問題・悪質商法・寛 せい剤など、どんな相談 にも応じます。 ☎(0764)42-0110
魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311代			シルバー110番	高齢者や家族の心配ごと、 悩みごとに富山県高齢者 総合相談センター 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内 ☎(0764)41-4110
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151代				

県からのホットニュース

▶KNB「こんにちは富山県です」の放送時間が
毎週日曜日午前9時30～10時になりました。

テレビ	RADIO	NEWSAPER
<p>テレビ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北日本放送 毎週日曜日 AM9:30～10:00 「こんにちは富山県です」 9/2 あばれ常願寺川少年探偵団 9/9 地域づくり・全国の裏方さん大集合 9/16 新しい五箇山の観光 9/23 秋の交通安全運動実施中 9/30 明日は国勢調査日 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「110万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」 	<p>ラジオ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をク リアなサウンドでおとどけしま す。 毎週月～金曜日 AM9:30～9:35 	<p>新聞広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北日本、富山、読売、北陸中日、 朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

編集後記

★今年は富山のくすり三〇〇年。昔から「良薬は口に苦し」というけれど、とやまのくすりはまさにその代表でしょう。仕事の上では、どうき息ぎれ、めまいが茶飯事。心臓の悪い小生にもとやまのくすりが一番! (T)

★じょうべのま遺跡でお会いした田中さんは、明治四十一年生まれの八十二才。毎日、案内・清掃と歩き回っているから、元氣満々。いきいきとして日焼けした顔が印象的なおじいちゃんでした。世界一長寿国の日本。長生きするなら、田中さんのように生きたい。(N)

★炎天下、裸でコーチをするジョゼ・カルロス・パウエルさん。六十四歳とは思えない身のこなしに、ブラジルサッカー界の底力を感じました。話は飛びますが、外国人を見ても全く違和感を覚えない自分にビックリ。街角で外国人の人をよくみかけるなど富山も国際色豊かになったせいでしようか……。(M)

裸のつばい
ベッファー
(Mの国際色)

安全はゆめをふたつに
かきかへよう



秋の全国交通安全運動

9月21日(金)～30日(日)

富山県では、交通事故による死者が3年連続して100人を突破しそうな厳しい情勢となっています。

交通安全は、道路を利用するドライバー、歩行者、自転車利用者などすべての人が交通ルールとマナーを守ることが大切です。秋の全国交通安全運動が下記のとおり実施されますが、それぞれの立場で、交通安全に参加しましょう。

重点

- 若年運転者による無謀運転の防止
- 高齢者の交通事故防止
- シートベルトの正しい着用の徹底
- 迷惑駐車 of 締め出し

特別デー

シートベルト着用徹底の日	9月21日(金)
若者の交通安全を考える日	9月25日(火)
飲酒・暴走運転追放の日	9月28日(金)

